高田地区コミュニティ
まちづくり計画書

長崎県長与町

高田地区コミュニティ活動推進会議

はじめに

高田地区は長崎市と直接境を接する、長与町の玄関口です。

新旧住民の心の触れ合う近隣社会づくりを目指し、昭和４７年当時の自治省からモデルコミュニティの指定を受けて、４２年が経過しました。

高田地区コミュニティを組織する自治会は、古くから、郷民運動会や振興会、青年団活動などを地域全体で行って参りました。昔から繋がりが深く、各自治会同士の交流も盛んです。こうした中、コミュニティ活動は、各自治会活動の規模を拡大し、地域内で行うことにより多くの参加者が集い、連帯感が養われるなどの目的で行っているところです。

高田コミュニティの理念は、コミュニティ指定２０周年を記念してつくられた「高田コミュニティ音頭」の中の歌詞に象徴されます。１番の「老いも若きも手を取り合って」に始まり、次の「俺もお前も地域の仲間」「親子代々この地を愛し」から「築く高田の故郷づくり」と、詩っています。今回のこの「まちづくり計画」の策定によりまして、子どもからお年寄りまで、連帯感を持って協力し合い、地域みんなによる町づくりが進んでいくことを願っております。

平成 26 年３月

高田地区コミュニティ活動推進会議

会長　　田嶋　好昭

コミュニティまちづくり計画について

現代社会においては、地域を取り巻く環境や住民のニーズ・価値観が多様化かつ複雑になる一方で、人と人とのふれあいや近所づきあいなどは年々希薄になりつつあります。さらに、多発する災害や環境問題、少子高齢化、子どもたちの健全な育成などといったさまざまな地域の課題に対応していくために、地域住民みんなによる、地域のための「まちづくり」を進めていくことが必要です。

そこで、地域の「まちづくり」活動を維持継続して進めていくためにも、住民みずからが「まちづくり計画」を策定し、それをもとに協力しあって解決に向けた活動に取り組んでいくことが大切で、その中核組織として地区コミュニティの重要性がますます高くなってきています。

今回、地域における長所・短所の洗い出しからその解決に向けての取り組み、その実施時期、役割分担などをまとめ、これからの地域全体の羅針盤として、「コミュニティまちづくり計画」を策定しています。

≪目　次≫

はじめに

1　高田地区の現状と課題 1

2　高田地区がめざす将来像 8

3　分野別の基本方針 9

4　主な取り組みと実施時期・役割分担 11

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画 19

6　計画の推進に向けて 20

7　資料 21

1　高田地区の現状と課題

高田地区の概況

■地理・地域

長与町の南西部に位置し、高田郷のほぼ全域で構成されています。地域内に幹線道路である県道 33 号、113 号と川平有料道路の長与ＩＣが通り、ＪＲ長崎本線の駅を２つ持つという抜群の交通アクセスを誇ります。それでいて自然が多く残っており、春には桜や菜の花が地区内を彩っています。

■主な地域資源

交通	主な公共施設
鉄道　ＪＲ九州長崎本線　高田駅 道の尾駅 バス　長崎バス 長崎県営バス 道路　川平有料道路　長与ＩＣ 県道 33 号　県道 113 号	高田地区公民館 ふれあいセンター・健康センター ほほえみの家 高田児童館
	主なスポーツ施設
	天満宮公園
産業・特産品	公園・名所・旧跡・寺社仏閣・観光地
	西高田城跡　東高田城跡 雄基家の墓　天満宮神社 十一面観音　馬頭観音 道之尾温泉　ゆりの温泉 道の尾公園
教育施設	
長崎県立長崎高等技術専門校 長崎県立長崎北陽台高等学校 高田中学校 高田小学校 町立高田保育所 道の尾保育園 フレンド幼稚園	まつり・イベント 獅子舞（道の尾・高田越） にわか（西高田）

■地域内の主な取り組み

・フェスタ in 高田
・菜の花まつり in 高田
・高田まつり
・高田コミュニティソフトボール大会
・高田コミュニティレディースソフトバレーボール大会
・高田コミュニティ子ども球技大会
・高田コミュニティグラウンド・ゴルフ大会
・高田コミュニティペタンク大会
・高田郷振興会

■コミュニティ

名称	設立年月日	事務局
高田地区コミュニティ活動推進会議	昭和 47 年 7 月 29 日	ふれあいセンター

高田地区の現況と課題

■進む高齢化、生活支援等の対策が望まれる

平成 25 年 3 月末の高田地区の人口は、9,613 人、世帯数は 4,082 世帯で、長与町全体に占める割合はそれぞれ 22.7%、24.9%となっています。1 世帯当たりの平均世帯人員は約 2.4 人で、高齢化率は 23.1%、15 歳未満の人口率は 13.9%です。

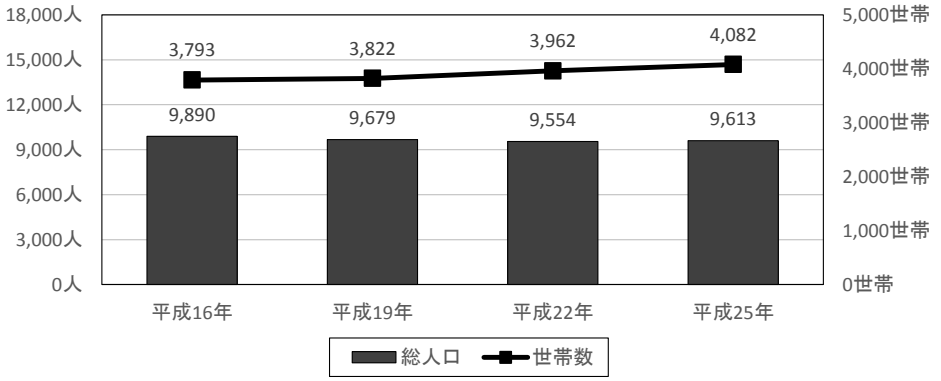
自治会数は 10 自治会で、最も人口が多いのが高田越自治会（1,670 人）、最も少ないのが日当野自治会（349 人）となっており、また 15 歳未満の人口率は高田越自治会（18.6%）やフォーレツインキャッスル自治会（17.5%）が比較的高いものの、高齢化率は町全体より高く、特に百合野第 1 自治会や百合野第 2 自治会では 36.0%を超えるなど、規模や世帯構成が大きく異なっています。これからは、地域の高齢者の一人暮らし世帯等の見守りや生活支援をいかに充実させていくか、子どもを地域全体で育てていくにはどう取り組んでいくのかなどが今後の課題といえます。

自治会別人口・世帯の状況

自治会名	男	女	計	世帯	高齢化率	15歳未満人口率	自治会加入世帯数	自治会加入率
長与町全体	**20,242**	**22,155**	**42,397**	**16,397**	**20.3%**	**15.7%**	**12,173**	**74.2%**
日当野	168	181	349	183	23.5%	8.3%	53	29.0%
道の尾	542	563	1,105	533	25.6%	10.1%	448	84.1%
高田越	811	859	1,670	712	15.3%	18.6%	520	73.0%
百合野	715	779	1,494	610	23.5%	13.8%	385	63.1%
百合野第1	164	186	350	160	36.0%	11.7%	122	76.3%
百合野第2	501	621	1,122	478	36.2%	9.3%	381	79.7%
東高田	469	496	965	386	20.4%	15.8%	245	63.5%
下高田	229	253	482	201	23.2%	13.7%	133	66.2%
西高田	698	720	1,418	574	25.0%	14.3%	377	65.7%
フォーレツインキャッスル	309	349	658	245	8.8%	17.5%	240	98.0%
高田地区合計	**4,606**	**5,007**	**9,613**	**4,082**	**23.1%**	**13.9%**	**2,904**	**71.1%**
			22.7%	**24.9%**				

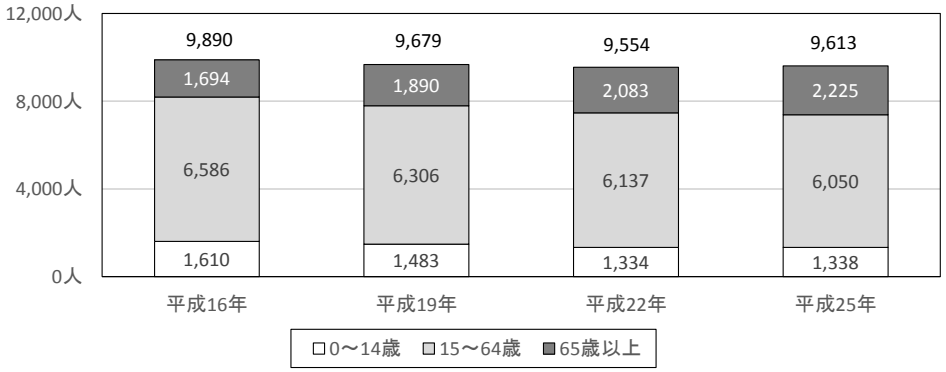
住民基本台帳：平成25年3月31日

人口・世帯数の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

３区分別人口構成比の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

■地域の絆や安全は普段の活動から広げていく

高田地区は、長与町の中でも早くから開発されてきたので、地区内の道路などが狭く、子どもや高齢者等への安全を求める意見も多く出されています。今後は、道路の拡張などの整備を求めていくことに加え、現在行われている「ながら隊」や「見守り隊」などの活動をさらに活発にしていくことが重要となります。また、近年頻発している災害に地区としても対応するため、防災センターや自主防災組織の確立も必要ですが、実際の災害時には、地域の人々の助け合いや支え合いといった地域の絆が大切になってきます。日頃の活動を通じてつながりを深めていくことが求められています。

■温厚で協力的な人が多いが、次世代における地域の担い手の育成が望まれる

アンケート調査によると、隣近所との付き合いや助け合いができている、自治会やコミュニティによく参加し知り合いが多いといった回答が、町全体より軒並み高くなっています。これは、地区内の結びつきやつながりが深く何事にも協力的である事や、人柄も温厚で日頃からお互いに助け合って生活していることがうかがえます。また、コミュニティの歴史も古く活動が活発なため、行事も多いが参加者も多いというのが特徴的です。しかし、近年は少子化の影響で子どもの参加者が年々少なくなってきていることに加え、自治会加入率の減少、さらに役員の負担が重い事、それにともなって役員やリーダーのなり手がいないなどの問題点があります。今後は、各イベントや行事における若い世代の参加を増やし、地域の連帯を一層強めていくことが望まれます。

■住みやすい高田地区、しかし生活環境の改善も必要

桜、菜の花などが美しく自然にも恵まれている高田地区。静かで住みやすいとの声も多く聞かれます。しかし、地域によっては都市基盤整備が途中であることや、交通事情の悪さ、公園や運動場の不足、さらには坂の多さ、空き家問題なども指摘され、生活環境の改善が求められています。また、高齢化に伴いゴミの問題等も地域で取り組む重要なテーマといえます。

ワークショップで出た主な意見

地域づくり分野

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・地域がまとまっている。 ・新旧の住民がよくとけこんでいる。 ・助け合いの精神はあると思う。 ・コミュニティ活動が活発。 ・各地区の拠点、公民館等が充実している。 ・自治会の行事によく参加し、知り合いも多い。 ・学校行事に地域の方の参加が多い。 ・民生委員及び各地区役員の積極的活動。 ・自分たちの地域を美しくする清掃活動。	・自治会加入者が減少している。 ・アパートやマンションの方が、加入しない方が多い。 ・自治会役員のなり手がいない。 ・自治会やコミュニティ活動に参加が少ない。 ・行事へ若い人の参加が少ない。 ・活動の中心は自治会であり、コミュニティにはあまり参加しない。 ・新住民と出会いが少ない。 ・地域内でのあいさつがなされてない。

健康福祉分野

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・健康増進と住民親睦を図るスポーツ大会。 ・高齢者にやさしい。 ・独居老人などの高齢者の生活支援。 ・食事サービスボランティア。 ・老人会等の組織はよくまとまっている。	・高齢化率が高くなっている。 ・高齢者の一人ぐらし、老齢夫婦のみの世帯の増加。 ・地区住民の半分以上が高齢者世帯。 ・介護を要する高齢者に対する不安。

環境整備分野

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・交通の便が良い。 ・落ち着きがあり、安心して暮らせる地区。 ・地区防犯及び交通安全の活動。（登下校時の見守り等） ・公園がきれい。 ・環境活動。自宅周辺の草刈り、ゴミ拾い。 ・生活環境はよい。 ・住宅地で、静かで、住みやすい。 ・緑が多く、自然豊か。 ・長崎市に近い地区であり、ベットタウン的存在。	・道路事情が悪い。 ・交通量が増えた場所の安全面が不安。 ・道路が改良されていないので、離合が大変。 ・交通マナーが悪い。 ・障がい者にやさしくない。 ・避難場所が遠すぎる。 ・街灯が少ない。 ・高齢者が多くなり、安全面等に不安が多い。 ・公園等の整備が、全体的に出来てない。 ・ゴミの分別が悪い。 ・ペットのマナーの問題。 ・川や山で遊べる場所がない。 ・坂が多すぎ。高齢者、弱者には負担。 ・空き家が増えている。 ・公共施設、商店等が少ない。

青少年育成分野

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・子どもたちが素直で元気。 ・子どもの登下校を見守ってくれている。 ・子どもたちが挨拶をよくしてくれる。特に小学生がよい。 ・学校行事に地域ボランティアの参加、協力。	・子どもの数が少ないので、行事等活力がない。 ・子ども会の参加者が少ない。 ・子育て支援活動不足。 ・中学生、高校生の行事への参加がほとんどない。 ・若手が（若い世代が）少なくなってきた。

2　高田地区がめざす将来像

高田地区の将来像を以下に示します。この目標案は、地区住民の中で意見の多い「安心・安全」を最初に掲げることで、取り組むべき重要課題や将来の目標をみんなの共通認識にしていこうというねらいがあります。また、誰もが人にやさしく、思いやりを持つことを基本とし、世代を超えて住民みんながこの高田地区にいつまでも快適に住み続けたいと思えるような地域づくりを進めていくことを願っています。

将来像

安心安全で人にやさしく、いつまでも住みつづけたいまち　高田

～子どもから大人までやさしさでつながる地域づくり～

3　分野別の基本方針

将来像を達成するために、以下に示す４つの分野ごとに「目指す姿と基本方針」を掲げ実現に向かって行動します。

地域づくり分野	目指す姿
	すべての住民がコミュニティ行事に参加し笑顔あふれる地区をめざす！
基本方針	子どもにせよ高齢者にせよすべてに住民の方には、地域内でできる役割があり、その活動の中でやりがいを見つけ充実することが心からの笑顔になると考えています。そのためには、コミュニティの行事にまず参加することが大切で、これまで以上に積極的な参加を促していきます。そして、住民全員の笑顔であふれる高田地区を目指し努力します。

健康福祉分野	目指す姿
	老人にやさしい高田地区
基本方針	高齢化が進む中で、地域における高齢者への取り組みは必要不可欠です。現在の食事サービスをはじめとする様々な取り組みをさらに充実させ、もっと高齢者にやさしい高田地区を目指します。また地域住民の健康増進や地区内のバリアフリー化を進めていきます。

環境整備分野	目指す姿
	助けあい、支え合うまち高田
基本方針	高田地区で、重要な課題の一つである「安全・安心」に取り組んでいきます。地域住民同士が普段から助け合い支え合うためには、日頃のつながりやふれあいが大切です。声かけとあいさつを徹底することで、地域に目が隅々まで届き、安全と安心が確保されるとともに、思いやりや感謝の気持ちを育んでいきます。

青少年育成分野	目指す姿
	話そう、遊ぼう、学ぼう
基本方針	この目指す姿は、家庭内はもちろんのこと、地域の中でも交流する機会を増やし、あらゆる世代とふれあうことで知識のみならず感謝する気持ち、思いやる心を育み、子どもたちの健全な人間形成を図っていきます。ひいては、郷土を愛する心を育てることで、将来、高田地区に有益な人物となるよう願っています。

4　主な取り組みと実施時期・役割分担

４つの分野別の基本方針に沿って、今後取り組むべき取り組みとその時期、役割分担を以下のように整理します。

〇施策時期について

短期	1～2 年で取り組む
中期	3～5 年で取り組む
長期	6～10 年で取り組む

〇役割分担について

地域	地区内で取り組むこと
協働	地区と行政が共同で取り組むこと
行政	行政が取り組むこと

〇体系のイメージ

	分野	目指す姿	取り組む分野
将来像　安心安全で人にやさしく、いつまでも住みつづけたいまち　高田 ～子どもから大人までやさしさでつながる地域づくり～	地域づくり	すべての住民がコミュニティ行事に参加し笑顔あふれる地区をめざす！	子ども達と笑顔であいさつできる地域
			高齢者が安心して暮らせる地域
			みんなが行事に参加する
	健康福祉	老人にやさしい高田地区	高齢者の支援
			道路整備
	環境整備	助けあい、支え合うまち高田	地域の安全・安心
	青少年育成	話そう、遊ぼう、学ぼう	ふれあい

地域づくり分野

目指す姿　**すべての住民がコミュニティ行事に参加し笑顔あふれる地区をめざす！**

現在、地区で取り組んでいること

・通学時間帯を中心に、ながら隊、見守り隊が笑顔であいさつをしている
・モデル地区では、高齢者世帯に声かけ運動を実施している
・各年代ごとに、フェスタ in 高田、ソフトボール大会、バレーボール大会、ペタンク、グラウンド・ゴルフ大会を実施している

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
子ども達と笑顔であいさつできる地域						
■自治会活動や子ども会へ参加を促し、地域と顔見知りになることにより、子ども達が、気軽に声かけやすい環境をつくる	―			○		
■子ども達と地域住民が交流する行事、場所などをつくる	―			○		
■小中学校の行事で地域住民とのふれあいの場をつくる	―			○		
■小中学校の協力を得て、あいさつに関する標語を募集して作品集や看板等をつくる	―			○		

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
高齢者が安心して暮らせる地域						
■高齢者の一人暮らし、高齢者だけの世帯に申告してもらい、自治会、消防、民生委員などで情報の共有を図り、災害時などに役立てる	▪▪▪▪	▪▪▪▪	▬▬		○	
■地域住民で高齢者世帯への声かけ運動を展開する	▪▪▪▪	▬▬			○	
■地域を明るくするため、防犯灯、カーブミラーを増やす	▪▪▪▪	▪▪▪▪	▬▬			○
■ゴミステーションを増やす	▪▪▪▪	▪▪▪▪	▬▬			○
■階段のある道路はできるだけスロープにする	▪▪▪▪	▪▪▪▪	▬▬			○
みんなが行事に参加する						
■その行事に関して、知識の深い方を住民の中から捜して、相談をし、根回しをしていく	▪▪▪▪	▬▬			○	
■自治会、コミュニティの役員の充実	▪▪▪▪	▬▬			○	
■自治会の班長さんあるいはリーダーになれそうな人に参加を促してもらう	▬▬			○		
■行事によく参加する人に頼んで、近隣世帯を誘ってもらう	▬▬			○		

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

健康福祉分野

目指す姿　**老人にやさしい高田地区**

現在、地区で取り組んでいること

- 粗大ごみの回収場所への運搬
- 見守り活動
- ＩＣＴ機器設置

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
高齢者の支援						
□ゴミ出しの協力						
■ステーションを増設する	━━				○	
■分別を簡略化する	┅┅	━━				○
■ゴミ出しテレフォンコール	┅┅	━━			○	
■ゴミ出しボランティア	┅┅	━━		○		
■行政ＰＲを工夫してもらい、ゴミ出し日の周知徹底を図る	━━				○	
□買い物支援						
■ネット販売を利用するための勉強会等の開催	┅┅	━━			○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
□福祉員制度の充実						
■活動内容のＰＲを高める	━━			○		
■質の向上のため、講座の開設	━━				○	
道路整備						
■避難路の確保（避難場所：高田小体育館）	┅┅	━━			○	
■高齢者の歩きやすい道づくり	┅┅	━━			○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

環境整備分野

目指す姿　**助けあい、支え合うまち高田**

現在、地区で取り組んでいること

・毎朝通学路の４ヶ所に立って、子どもへ声をかけている
・高齢者の見守り活動

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
地域の安全・安心						
□声かけとあいさつ						
■散歩時に子どもにあったらあいさつをする	━━			○		
■子どもを見かけたら、家の窓から手をふる（顔見知りの時）	━━			○		
■保護者の交通指導に一緒に立ち会う（1 日、20 日）	━━			○		
■社協の見守り活動の充実	━━			○		
■車用のながら隊シールを充実	━━				○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
□地域連携強化						
■フェスタ in 高田の種目を魅力あるものにする	━━			○		
■育成協のペタンク大会を優勝戦までやる	━━			○		
■子ども会と老人会の交流を深める	━━			○		
■コミュニティバスの充実	━━				○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

青少年育成分野

目指す姿　**話そう、遊ぼう、学ぼう**

現在、地区で取り組んでいること

・子ども球技大会

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
ふれあい						
□幼、小、中、高、青、親、老が一同に集まってもの作りをする						
■高田デーの設定	━━				○	
■幼、小、中、高の校長の参加のお願い	━━			○		
■自治会に参加を呼びかける	━━			○		
■内容作成（計画）	━━			○		
■原材料（物）	━━				○	
■リーダー育成（人）	┅┅	┅┅	━━		○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画

前項の取り組むべき施策の中で、特に部会内で重要であると思う項目や優先順位が最も高いと思う取り組み案を１つ選び、具体的な取り組みを示します。

地域づくり重要プロジェクト**「子ども達と地域住民が交流する行事、場所などをつくる」**
●活動内容 現在の活動について ・現在行っている行事を、単独ではなく複数の行事を組み合わせてから行う 今後の活動について ・子どもから高齢者まで一緒にできるゲームを考え実施する

健康福祉重要プロジェクト**「ゴミ分別を簡略化する」**
●活動内容 ・高齢者のゴミ出し支援の充実をコミュニティで取り組み、負担の軽減に努める ・その一環として、ゴミ分別の簡素化をコミュニティ内の支援活動で取り組めないかを検討する

環境整備重要プロジェクト**「地域の安全・安心」** **「コミュニティバスの充実」**
●活動内容 【地域の安全・安心】 ① 保護者の交通指導に一緒に立ち会う ② 「ながら隊」の一層の充実を図る 【コミュニティバスの充実】 ① コミュニティバスの充実のため、コミュニティ全体で取り組む ② 買い物弱者に配慮した運行を行う ③ 通院者に配慮した運行を行う

青少年育成重要プロジェクト**「幼、小、中、高の校長の参加のお願い」**
●活動内容 ・コミュニティ役員会への学校長の定期参加のお願い ・生徒の学習、生活の現状の把握 ・コミュニティの行事日程等の共通認識が出来る ・協働作業による物造り（竹トンボ・竹馬等） ・３世代によるペタンク、グラウンド・ゴルフ大会の実施（全員参加）

6　計画の推進に向けて

以上のように、『安心安全で人にやさしく、いつまでも住みつづけたいまち　高田』を実現し、高田地区コミュニティをさらに発展させていく上で、取り組むべきことは多くあります。しかし、現状では一部の人に負担が偏ったり、活動する人が限られたりと、これではどうしても継続的な地域づくりは難しくなってきます。従って、今後は以下のように取り組んでいきます。

■今回策定した「高田地区コミュニティまちづくり計画書」を、地域全体の計画とするために、全住民への周知に取り組み、理解を図ります。

■計画を推進していくためには、地域づくりのための仕組みづくりが必要です。コミュニティを中心に地域住民、自治会、ＮＰＯ、行政などが参加、参画、連携、協働することにより、計画の一層の充実を図っていきます。

■計画の推進にあたっては、何に取り組み、予算はどう配分するのかなどを、民主的に透明性をもって決定していきます。

■計画の推進にあたっては、人材の適材適所、地域内の人的資源、特に若い力の掘り起しに努めます。

■計画は進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行っていくことが大切です。
見直しが必要になった際には、コミュニティ内で話し合う場を設け、行政を交えながら計画を推進していきます。

7　資料

■コミュニティまちづくり計画策定の経緯

開催日	内容
平成 24 年 12 月3日～12 月 25 日	コミュニティまちづくり計画アンケート調査の実施
平成 25 年　7 月 16 日	第１回　住民ワークショップ ・地区の長所と課題の整理
8 月 20 日	第２回　住民ワークショップ ・地区の将来像と部会の目指す姿の検討
10 月 15 日	第３回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（1）
11 月 12 日	第４回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（2）
平成 26 年　1 月 20 日	第５回　住民ワークショップ ・重点プロジェクト及び計画書のまとめ

高田地区コミュニティまちづくり計画書

平成 26 年 3 月発行

長崎県長与町

高田地区コミュニティ活動推進会議